

リレーションシップバンキングの機能強化計画に基づく

# “地域貢献に関する 情報開示”

(平成16年3月期)



株式会社 福井銀行

地域貢献に関する開示情報の項目	
1. 地域への信用供与の状況	
(1) 貸出業務全般の状況	
総貸出金残高	1
地域向け貸出金残高・貸出金比率	1
業種別貸出金残高・貸出先数	1
地域向け業種別貸出金残高・貸出先数	2
(2) 中小企業向け貸出業務の状況	
中小企業向け貸出金残高・貸出先数・貸出金比率	3
地域の中小企業向け貸出金残高・貸出先数・貸出金比率	3
中小企業向け融資商品の提供内容	4
福井県内の保証協会保証付貸出金残高	4
地方公共団体の制度融資への取組状況	4
(3) 個人向け貸出業務の状況	
個人向け貸出金残高・貸出先数・貸出金比率(含む住宅ローン)	5
地域の個人向け貸出金残高・貸出先数・貸出金比率(含む住宅ローン)	5
個人向けローン商品の提供内容	6
2. 地域のお客さまへの利便性提供の状況	
(1) 顧客接点の状況	
店舗等チャネルの状況	7
(2) 預金業務等の状況	
総預金残高・預かり資産残高	8
地域の預金残高・預かり資産残高	8
決済・資産形成サービス等の利用状況	8
地域顧客への利便性提供に資する取組状況	9
(3) 子会社を通じた利便性提供の状況	9
3. 地域経済活性化への取組状況	
(1) 企業に対する経営サポートの状況	
企業の経営相談等への取組状況	10
企業再生への取組状況	11
(2) 企業育成への取組	
企業育成等への取組状況	11
(3) 地方公共団体の事業との関係	12
4. その他	
(1) 地域への各種支援活動の状況	
ボランティア活動等の状況	13

# 1. 地域への信用供与の状況

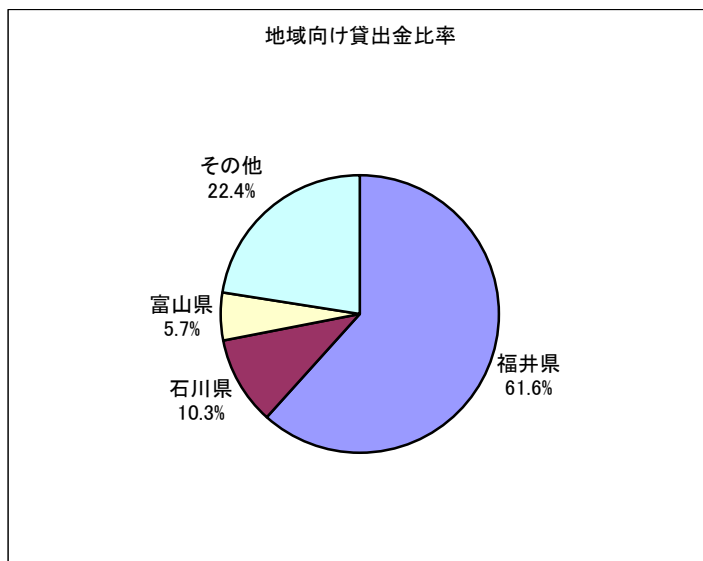
## (1) 貸出業務全般の状況

貸出金については企業の資金需要は低調でありましたが、消費者ローンが順調であったことから、1,474,178百万円となりました。

なお、地域向け（北陸3県内）貸出金は1,143,334百万円（うち福井県内908,083百万円）であり、貸出金全体の77.6%（うち福井県内61.6%）となっております。

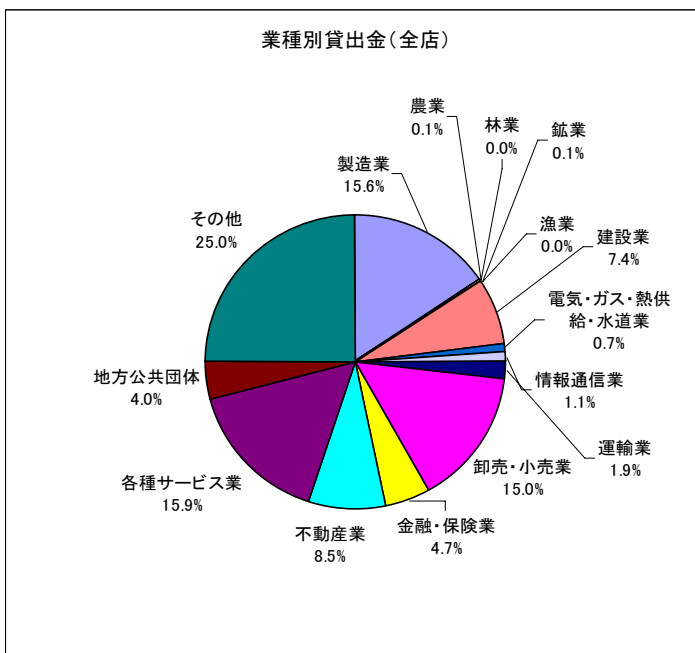
### <地域別貸出金残高・貸出金比率>

(百万円)	
福井県	908,083
石川県	151,385
富山県	83,867
その他	330,844
合計	1,474,178



### <業種別貸出金残高・貸出先数>

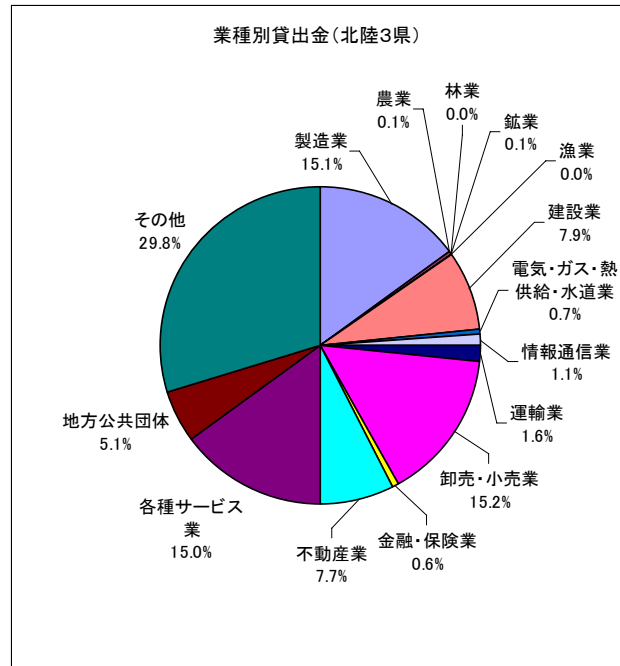
業種	(百万円, 先)	
	貸出金残高	貸出先数
製造業	229,428	2,079
農業	1,702	106
林業	152	7
漁業	145	13
鉱業	1,086	17
建設業	109,047	1,719
電気・ガス・熱供給・水道業	9,945	14
情報通信業	16,251	46
運輸業	28,292	180
卸売・小売業	220,982	2,244
金融・保険業	68,613	55
不動産業	125,459	693
各種サービス業	234,530	2,049
地方公共団体	58,962	52
その他	369,584	74,970
合計	1,474,178	84,244



<地域向け（北陸3県）業種別貸出金残高・貸出先数>

(百万円, 先)

業種	貸出金残高	貸出先数
製造業	172,420	1,943
農業	1,702	106
林業	152	7
漁業	145	13
鉱業	1,086	17
建設業	90,595	1,657
電気・ガス・熱供給・水道業	7,966	12
情報通信業	13,052	41
運輸業	17,882	159
卸売・小売業	173,625	2,089
金融・保険業	6,674	27
不動産業	88,064	606
各種サービス業	171,460	1,930
地方公共団体	58,862	51
その他	339,649	73,119
合計	1,143,334	81,777



(2) 中小企業向け貸出業務の状況

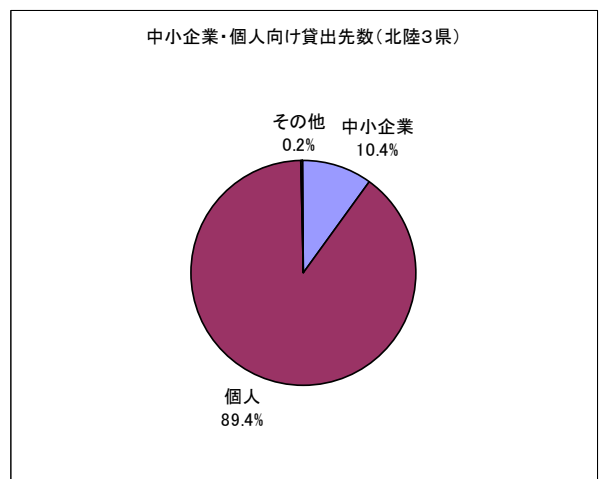
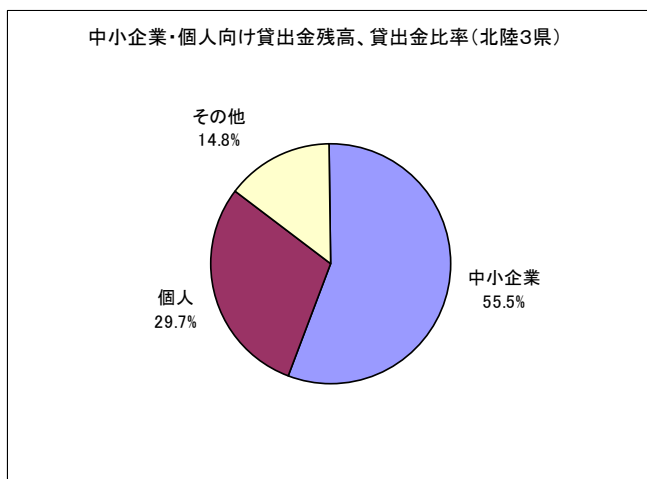
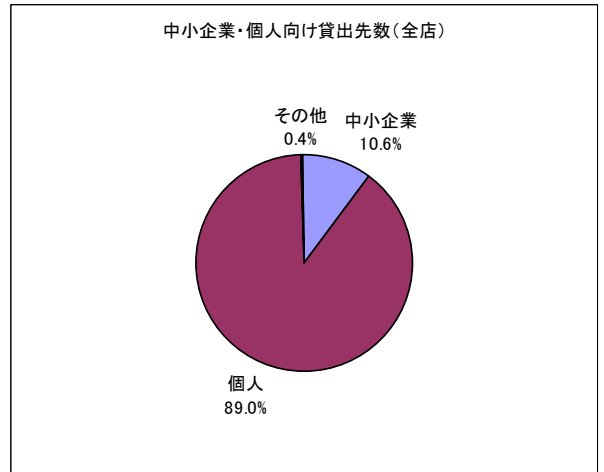
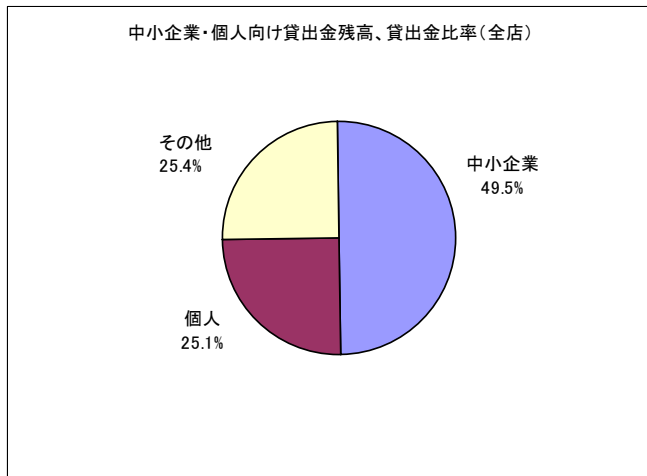
ア. 中小企業向け貸出金残高・貸出先数

中小企業向け貸出金残高は 729,502 百万円、貸出先は 8,957 先で、それぞれ総貸出金、総貸出先数の 49.5%、10.6%となりました。

このうち、北陸3県内は、貸出金残高で 635,019 百万円（うち福井県内 528,483 百万円）、貸出先は 8,502 先（うち福井県内 7,257 先）となりました。

[単位:百万円、先、%]

	残高				先数			
	総貸出金	中小企業	個人	その他	総貸出金	中小企業	個人	その他
全店	1,474,178	729,502	369,575	375,101	84,244	8,957	74,970	317
北陸3県	1,143,334	635,019	339,642	168,673	81,777	8,502	73,119	156
福井県	908,083	528,483	254,766	124,834	73,229	7,257	65,865	107



## イ. 中小企業向け融資商品の提供内容

### (ア) 中小企業の資金ニーズに迅速に応じる商品の概要・取扱状況

中小企業のみなさまの資金ニーズに迅速にお応えするため、NBL（ナチュラビジネスローン）等の事業者用ローンをお取り扱いしております。

NBL（ナチュラビジネスローン）取扱状況（平成16年3月末現在）

3,110件 9,221百万円

### (イ) 私募債・証券化商品等の取扱状況

私募債は平成12年度に施行された信用保証協会の特定社債制度を皮切りに、発行額は拡大を続けております。

当行でも、中小企業のみなさまの私募債発行をご支援しており、現在までの受託・引受実績は順調に推移しております。

#### 「信用保証協会保証付私募債」の受託・引受実績

平成12年度	13件	1,950百万円
平成13年度	15件	1,690百万円
平成14年度	26件	2,920百万円
平成15年度（上半期）	14件	1,400百万円
平成15年度（下半期）	5件	500百万円

#### 「銀行保証付私募債」の受託・引受実績

平成15年度（上半期）	2件	400百万円
平成15年度（下半期）	3件	450百万円

## ウ. 福井県内の信用保証協会保証付貸出金残高

当行では、中小企業のみなさまへの資金供給の円滑化を図るため、信用保証協会の各種保証制度を積極的にご提案・お取り扱いしております。平成16年3月末現在の福井県信用保証協会保証付貸出金残高は115,404百万円（前年比5,061百万円減少）、シェアは36.4%（前年比0.2%増加）となっております。

## エ. 地方公共団体の制度融資への取組状況

当行は、福井県や市町村の制度融資の取扱窓口として、中小企業のみなさまの資金ニーズにお応えするための取組みを行っております。平成15年7月からお取り扱いを開始した「福井県緊急経営改善借換資金」は、49件1,816百万円のご利用をいただいております。

なお、平成15年度の福井県制度融資の取扱高は、860件17,339百万円となっております。

平成15年度制度融資取扱実績（15年4月～16年3月）（百万円）

	件数	金額
福井県緊急経営改善借換資金	49	1,816
上記以外の県・市町村制度資金	811	15,523
合計	860	17,339

(3) 個人向け貸出業務の状況

ア. 個人向け貸出金残高・貸出先数

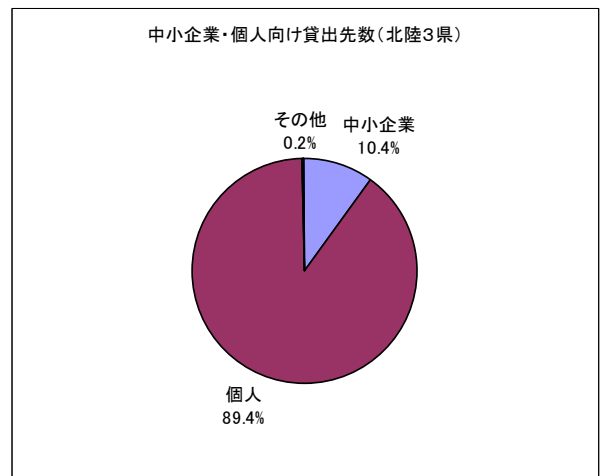
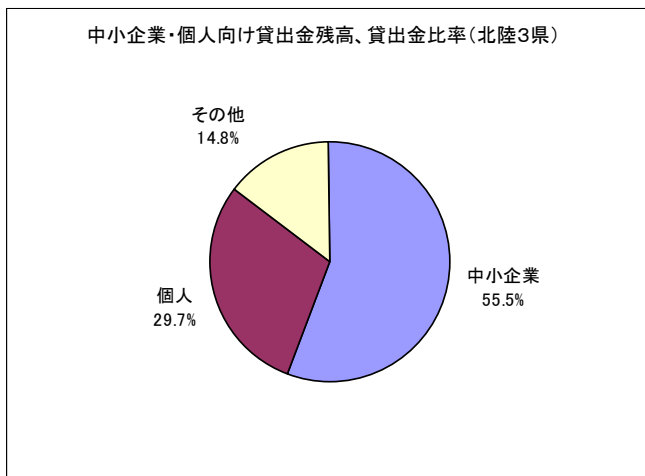
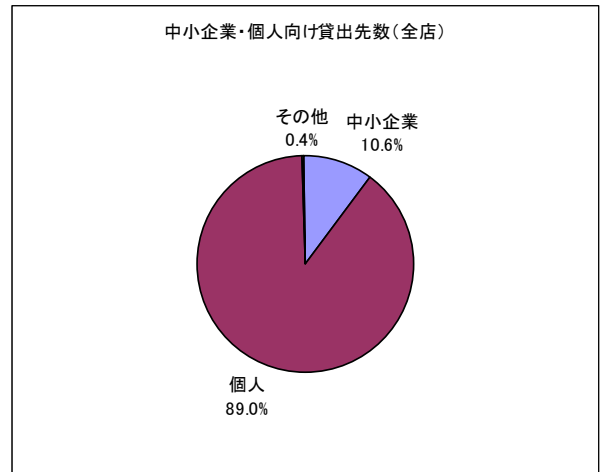
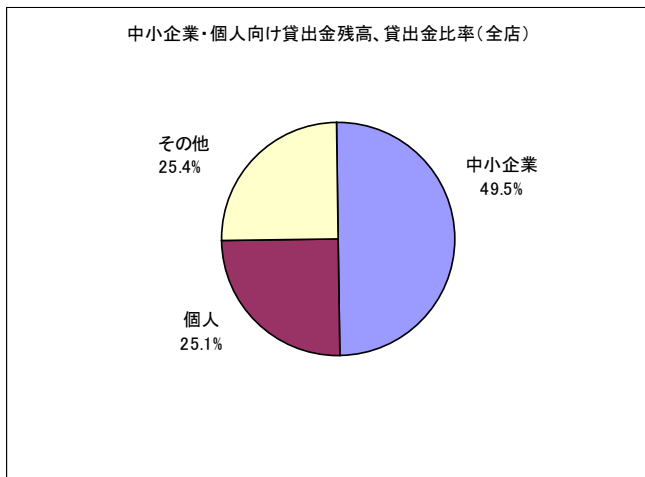
個人向け貸出金残高は、消費者ローンが順調に増加した結果、369,575 百万円（うち消費者ローン 320,525 百万円）、貸出先は 74,970 先となりました。

このうち、北陸3県内では、貸出金残高は 339,642 百万円（うち福井県内 254,766 百万円）、貸出先は 73,119 先（うち福井県内 65,865 先）となりました。

<個人向け貸出金残高・貸出先数・貸出金比率>

(百万円, 先)

	残高				先数			
	総貸出金	中小企業	個人	その他	総貸出金	中小企業	個人	その他
全店	1,474,178	729,502	369,575	375,101	84,244	8,957	74,970	317
北陸3県	1,143,334	635,019	339,642	168,673	81,777	8,502	73,119	156
福井県	908,083	528,483	254,766	124,834	73,229	7,257	65,865	107



## イ. 個人向けローン商品の提供内容

### (ア) 個人の資金ニーズに応じる商品の概要・取扱状況

当行では、住まいづくりをはじめ、結婚・教育・各種消費材の購入など個人のお客さまの多様な資金ニーズにお応えするため、以下のような個人向けローン商品をご用意させていただき、16年3月末現在3,205億円のご利用をいただいております。

商品名	商品概要
住宅ローン	住宅の新築・増改築・宅地・土地付住宅のご購入のほかに、家電用品や家具など、住宅取得に伴う諸費用にご利用いただけます。 お借入れいただく時の“借りやすさ”はもちろん、お借入れいただいた後も“安心”してご利用いただけるよう、「ガン保障特約付住宅ローン」や「債務返済支援保険」などの商品をご提供させていただいております。
消費者ローン	マイカーご購入・教育費用・リフォームのほか、各種消費資金にご利用いただけます。
カードローン	カード1枚でご自由に簡単にご利用いただけます。

### (イ) 個人ローン取扱専門窓口の設置と業務内容

当行では、平日銀行にご来店いただけないお客さまのために、平日は夕方まで、さらに土・日・祝日も営業している拠点「ナチュラルプラザ」を設置しております。平成16年3月末現在、福井県内に7箇所、石川県内に2箇所、富山県内に1箇所、滋賀県内に1箇所の合計11箇所となっております。

主に、住宅ローンなどのローンご相談業務が中心で、福井県内では住宅ローンご相談件数の約半数が「ナチュラルプラザ」でのご相談案件となっております。



## 2. 地域のお客さまへの利便性提供の状況

### (1) 顧客接点の状況

#### ア. 店舗等チャネルの状況

##### (ア) 店舗・ATMの設置状況等

当行の店舗数は平成16年3月末現在101店舗で、福井県内35市町村のうち33市町村に設置しているほか、個人のお客さまのお借入や資産運用などの各種ご相談窓口として、土・日・祝日も営業している「ナチュラプラザ」を北陸3県に10箇所設置しております。

また、北陸3県のATMコーナーは「エブリディ セイムタイム フリーチャージ」をキャッチフレーズに、年中無休で午前8時から午後9時まで当行カードをご利用の場合、手数料無料で稼働しております。さらに、宝くじが購入できるほか、郵貯とATMオンライン提携を実施するなど、お客さまの利便性を図っております。

(16年3月末現在)

	店舗数	店舗設置市町村数	ナチュラプラザ	店舗外ATM
福井県	79	33	7	135
石川県	11	6	2	15
富山県	4	2	1	2
その他	7	7	1	1
合計	101	48	11	153

注1 店舗数には、有人の出張所、入金照会サービスの管理専用店舗である「振込専用支店」を含みます。

注2 店舗外ATMは箇所数です。

##### (イ) チャネル多様化による利便性

当行では、インターネットや携帯電話による「インターネット・モバイルバンキングサービス」のお取扱時間の延長のほか、従前よりご好評の、お電話で各種預金取引、ローンご相談、お振込等がご利用いただける「テレホンバンキングサービス」を併せた「ナチュラネット」がさらに充実いたしました。これにより、お客さまに一番近い銀行窓口として、様々なご相談やご要望に対し柔軟にお応えできる営業体制を整えております。

##### (ウ) バリアフリーへの取組等

当行では、音声が大きく聞こえる小型音声増幅器「ボイスメッセ」や老眼鏡を全店に常備しているほか、新設および増改築店舗を中心に車椅子用のスロープ(75箇所)やトイレ(7箇所)を設置しております。また、一部の営業店やナチュラプラザには手話ができる行員を窓口配置するなど、高齢者や障害のある方に配慮したやさしい店舗づくりを進めております。

(2) 預金業務等の状況

預金は、金利が過去最低水準を続ける環境の中で高金利預金の取入れを抑制しましたことに加え、多様化するお客さまの資産運用のニーズにお応えするため、国債、投資信託、個人年金保険などの販売に注力しました結果、総預金残高は 1,841,803 百万円となりました。

このうち、北陸3県では 1,759,861 百万円(構成比 95.6%)、福井県内では 1,615,620 百万円(同 87.7%) となっております。

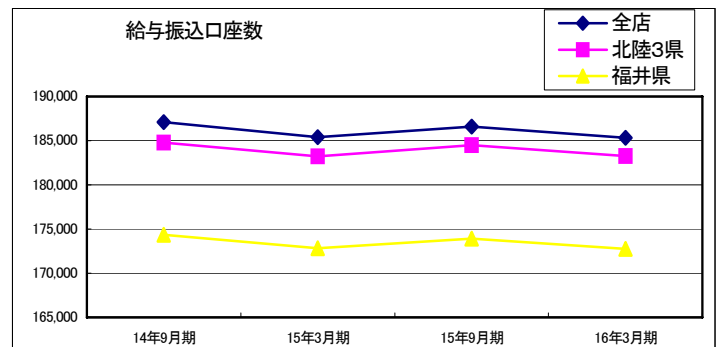
ア. 総預金残高、預かり資産残高 (百万円)

平成16年3月	全店	うち北陸3県	うち福井県	うちその他
総預金	1,841,803	1,759,861	1,615,620	81,942
譲渡性預金	70,597	70,148	62,728	449
国債	78,691	76,512	69,231	2,179
投信	45,556	44,831	41,865	725
個人年金保険	9,981	9,822	9,094	158

イ. 決済・資産形成サービス等の利用状況

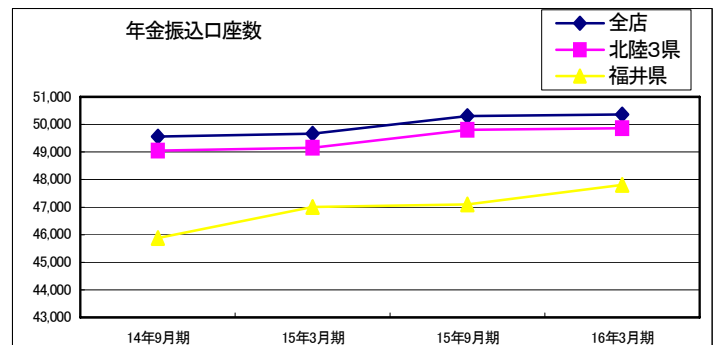
● 給与振込口座の推移 [単位:口]

	全店	うち北陸3県	うち福井県
14年9月期	187,097	184,788	174,336
15年3月期	185,407	183,227	172,830
15年9月期	186,607	184,494	173,899
16年3月期	185,343	183,272	172,762



● 年金振込口座の推移 [単位:口]

	全店	うち北陸3県	うち福井県
14年9月期	49,560	49,048	47,004
15年3月期	49,659	49,151	47,101
15年9月期	50,305	49,809	47,778
16年3月期	50,360	49,860	47,807



ウ. 地域顧客への利便性提供に資する取組状況

(ア) 預金商品・各種金融商品・決済サービス等の内容

当行では、国内預金商品のほか外貨預金・国債・投資信託・個人年金保険など、お客さまの様々な資産運用ニーズにお応えできるよう商品の充実を図っております。

(イ) 年金相談会の開催

年金についてのご相談は、各営業店の窓口のほか、「ナチュラプラザ」でも受付をしております。加えて、本部には社会保険労務士の有資格者を配置し、年金の専門的なご相談にもお応えできる体制を整えております。

(3) 子会社を通じた利便性提供の状況

福井銀行グループは福井銀行および子会社 9 社で構成され、銀行業務を中心にリースやEB商品のご提供など様々な金融機能の充実を図り、地域のみなさまにご満足いただける商品・サービスをご提供しております。

【福井銀行グループ】

- ・株式会社福井銀行
- ・福銀ビジネスサービス株式会社（現金精査・ATM保守管理等）
- ・福銀スタッフサービス株式会社（労働者派遣業務等）
- ・福銀オフィスサービス株式会社（事務受託業務）
- ・福銀総合管理株式会社（当行貸出に係る競落不動産の取得・売却業務）
- ・株式会社福銀ローンワーク（融資関連事務受託業務）
- ・福井信用保証サービス株式会社（住宅ローン等の保証業務）
- ・株式会社福井ディーシーカード（クレジットカード業務）
- ・株式会社福銀リース（リース業務）
- ・福井ネット株式会社（EB商品の販売等コンピュータ関連事業）

### 3. 地域経済活性化への取組状況

#### (1) 企業に対する経営サポートの状況

##### ア. 企業の経営相談等への取組状況

###### (ア) 海外進出企業への支援

税務・会計、貿易実務など中国ビジネスに精通した外部機関・専門家と提携し、多様化するお取引先の中国ビジネスへのご支援体制を整備いたしました。平成15年6月より本格業務開始した「海外支援室」の活動を通じ、78社からのご依頼により計140件の情報のご提供を行い、お取引先の中国ビジネスリスクの軽減に努めました。

また、中国銀行東京支店（本社：中国北京市）との業務提携により、お取引先の中国現地法人への人民元建融資（当行保証）を実行するなど、現地で発生する資金調達ニーズにも積極的にお応えしております。さらには、セミナーの企画や講師派遣を通して、多くのお客さまに対し中国における事業展開のサポートや貿易実務指導を実施し、お取引先の国際化の一助となっております。

#### <セミナーおよび勉強会開催の実績>

##### ○ 平成15年6月26日,27日

福井商工会議所主催「貿易実務講座（初級編）」（参加者70名）

講師：当行法人営業グループ海外支援室

テーマ：「輸出入業務における決済について」

##### ○ 平成15年7月7日

ふくぎんカレッジ「中国ビジネスセミナー」開催（参加者65社、82名）

講師：(株)マイツ 代表取締役 池田 博義氏

テーマ：「会計士からみた中国進出企業の現状問題と解決策」

講師：上海越智経貿発展(有) 総経理 平野 清一氏

テーマ：「中国での人材確保について」

##### (イ) 取引先企業向け社員研修の開催、講師派遣等

お取引先のご要請により、マナー研修の講師派遣（平成15年10月～平成16年3月までで62回）を行いました。

##### (ウ) 取引先企業に対する経営サポート体制

インターネットを利用した情報サービスの「福銀ビジネスサービス経営情報サービス」により、お取引先企業の会員のみなさまに「経営情報」のご提供と「ビジネスマッチング」のお手伝いをさせていただいております。平成15年10月～平成16年3月の期間中に、会員数が706先増加し、累計で1,594先となっております。「ビジネスマッチング」の登録は13件増加いたしました。また、経営ご相談の窓口を設置しており、本店や支店を通じお取引先企業の商工ご相談、法律ご相談、税務ご相談、財務ご相談などに外部専門家を活用しながら迅速にお応えしております。

#### <相談実績：15年4月～16年3月>

開業ご相談	15件	労務ご相談	24件
商工ご相談	157件	その他ご相談	68件
法律ご相談	41件		
税務ご相談	50件		
財務ご相談	54件	合計	409件

## イ. 企業再生への取組状況

### (ア) 体制の整備状況

平成 15 年 7 月、融資グループ内に「企業再生室」「企業支援室」を設置いたしました。「企業再生室」については、特定のお取引先に常駐し、細部に亘るコンサルティングを実施し、また、「企業支援室」については、従来からのご支援先に加え、新たにご支援先を選定し、対象お取引先に対し適宜、訪問を行って参りました。

平成 16 年 3 月には、この「企業再生室」と「企業支援室」を統合しチームへ昇格させ、「企業再生支援チーム」として機能強化いたしました。

### (イ) 他金融機関との連携

日本政策投資銀行と福井県内に本店を置く金融機関との間で「地域金融協議会」を創設し、企業再生に関する意見交換を含め、3 回の会合を開催いたしました。また、日本政策投資銀行、中小企業金融公庫、商工組合中央金庫、国民生活金融公庫の 4 つの政府系金融機関と業務連携協定を締結し、中小企業金融活性化に向けた協力を行っております。

### (ウ) 人材育成

全国地方銀行協会ならびに金融実務関連企業主催の研修・セミナーに積極的に人材を派遣し、事業再生実務に関する知識の蓄積に努めております。

### (エ) 具体的な成果

平成 15 年 4 月から平成 16 年 3 月までの 1 年間で経営改善支援取組先 468 社のうち、60 社についてはランクアップとなりました。

特に、ランクアップした 1 社については、「福井県中小企業再生支援協議会」との連携により事業再生を果たすことができました。(15 年 4 月：協議会ベースで全国初の再生支援認定企業となりました。)

## (2) 企業育成への取組

### ア. 企業育成等への取組状況

#### (ア) 地域の産官学機関との連携

地域機関（福井県産業支援センター・福井県中小企業大学校・福井商工会議所など）との連携を強化し、フォーラム、セミナーなどに参加し、ネットワークの構築、情報交換の場をつくってまいりました。

#### (イ) 地域金融機関との情報交換

平成 15 年 5 月、金融機関の情報交換の場として『北陸地区産業クラスター金融会議』を開催したほか、平成 15 年 10 月には福井県分科会を開催し、ネットワークの強化を図り、中小企業のみなさまの育成に取り組んでおります。

平成 15 年 10 月 第 1 回北陸地区産業クラスターサポート金融会議福井県分科会

平成 15 年 12 月 第 2 回近畿地区産業クラスターサポート金融会議

平成 15 年 12 月 第 2 回北陸地区産業クラスターサポート金融会議

平成 16 年 2 月 北陸地区産業クラスターサポート金融会議幹事会

#### (ウ) 政府系金融機関との連携

地域におけるベンチャー支援、企業再生、中小企業者に役立つ情報交換を行い、地域金融を活

性化させるため政府系金融機関とも業務協力協定を締結いたしました。

平成15年10月 『福井地域金融協議会』発足

(福井銀行、福邦銀行、日本政策投資銀行)

平成15年12月 日本政策投資銀行・「土壌汚染対策法」関連情報説明会

平成16年 1月 第2回『福井地域金融協議会』開催

平成16年 2月 政府系金融機関との業務協力協定を締結

- ①日本政策投資銀行 『業務協力協定』
- ②中小企業金融公庫 『業務連携協力に関する覚書』
- ③商工組合中央金庫 『業務協力について』
- ④国民生活金融公庫 『業務連携・協力に関する覚書』

### (3) 地方公共団体の事業との関係

#### ア. 地方公共団体の事業への協力等を通じた地域貢献の状況

##### (ア) P F I 事業への取組対応

制度内容や事例研究および情報収集を実施し、体制整備を行って対応に備えております。

※ P F I : (Private Finance Initiative)

公共事業を民間の資金・技術・経営ノウハウを使い、効率的かつ効果的に行うもの

##### (イ) 地方公共団体の収納事務への対応

県内 33 の県市町村の指定金融機関として、税金等の円滑な収納のご支援を実施しております。また、地方公共団体からの要請を受けて、6 団体に対し 10 名を有料にて派遣し、公金事務のご支援を実施しております。

##### (ウ) 地元地方公共団体の地方債の引受け

平成 14 年度（平成 14 年 6 月から平成 15 年 5 月）の引受額は、証券発行を含めて 457 億円であり、平成 15 年度引受額は平成 16 年 3 月現在で 88 億円 となっております。

(億円)

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
当行引受額	249	210	379	457	88

## 4. その他

### (1) 地域への各種支援活動の状況

#### ア. ボランティア活動等の状況

##### (ア) 教育・福祉支援活動の状況

『財団法人保堂会教育福祉財団』による教育・福祉支援活動の実施

当行の役職員で構成しておりました「保堂会」を、当行創立 100 周年を機に平成 12 年 3 月財団法人化し、毎年教育機関ならびに社会福祉法人に対し教育機材等を寄贈しており、平成 15 年も県内の学校・社会福祉法人 24 先に対し、総額 1,200 万円の寄贈を行いました。

##### (イ) 環境問題への取組

###### ・「資源循環型社会」実現への取組

福井銀行グループから排出された紙を原料として、ペーパーリサイクルに取り組んでおります。この再生紙を「ナチュラルの森」と名づけ、従来の頒布品や行内用のトイレットペーパーに替えて使用しております。

###### ・営業室のロビーを分煙から禁煙に

多くの方が利用する全営業店、ナチュラルプラザのロビー、営業室、自動機コーナーなどを終日全面禁煙とさせていただきました。

###### ・『福井県緑化大会』への参加

地球環境保護のため毎年実施される「福井県緑化大会」に参加し、毎年 100 万円（10 年間で総額 1,000 万円）分の樹木の寄付を続けております。

以 上